

まちかど★ ネットワーク

お便りください

このコーナーは、皆さんの地域の話題を中心にお届けします。

お便りや出来事を広報広聴課☎51-0123内線2822へお寄せください。

市長への 手紙から

愛鷹山の工事は みんなの意見を聞いてから

吉永第二小学校の鈴木花菜子さんの家では、シイタケをつくっています。大事なシイタケを猿や野生の動物たちが食べてしまいました。愛鷹山の、工事の音がうるさいからです。

〈市長への手紙〉

「それじゃあ、シイタケはどうなるのよ」と、私は言いました。おじいちゃんが、「工事の音がうるさくて、野生の動物が山をおりて来たので、シイタケを全部むしって食べちゃった」と、言ったからです。

工事をして道をつくれれば、人間はうれしいけれど、動物たちがすみかをなくして下におりて来て、作物を食い荒らして困ります。

今度から工事をするときは、サル、シカ、イノシシなど、野生の動物たちのことや自然のこと、またみんなの意見を聞いてください。

〈市長の答え〉

大事なシイタケを動物たちに食べられてしまって、大変お気の毒に思います。おなかをすかした動物たちが山からおりて来て、食べてしまったのでしょうか。

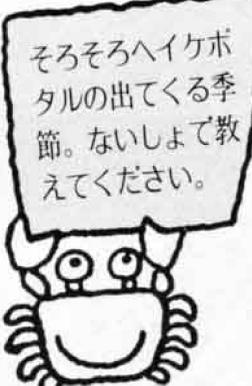
今、花菜子ちゃんの家から、愛



鈴木花菜子さん

鷹山の杉やヒノキが見えるでしょう。これらの植えた木は、材木になるまでに四十年から五十年くらいかかります。その間ずっと、枝を切ったり枯れ木を切らないと、立派に育ちません。また、人が手入れしないと、雨が土の中にしみ込まなくなり、水が土の表面を流れて山崩れや洪水を起こしてしまいます。

こんなことにならないように、山に行つて手入れができる道をつくっています。山に道をつくることは、人間の命を守つたり山の自然を守ることもなるのです。市役所は、工事のときはいつも自然を大切に、考えながら仕事をしています。



そろそろハイケボタルの出る季節。ないしよて教えてください。

わいわい広場

早くきれいな ハーモニーに



〈加藤省吾さんの歌を歌って〉

大洲公民館のコーラス部は、五月にてきたばかりのホカホカグループ。部員は、二十五人。部長の福良和子さんを中心に、張り切っています。

大洲は、何といつても偉大な作詞家加藤省吾さんの生まれ故郷。だから、練習曲も自然に加藤さんの歌になります。「みかんの花咲く丘」や「かわいい魚屋さん」など。

今、グループが取り組んでいるのは、「そばの花」。女性二部合唱の曲です。「早くきれいなハーモニー」と、練習にも一段と気合いが入ります。

ゲートボール

楽しいからやめられないね

「二番、そばへ来て。」「八番、早く。威勢のいいかけ声が、赤や白のボールと一緒に飛び交います。中丸浜区のゲートボール場は、いつもこんな風に、にぎやかです。

この土地は、宮島の味岡端夫さんから、市へ寄付していただきました。昭和六十三年からずっと借りていたのですが、味岡さんが「地域の皆さんのお役に立てれば」と、寄付を申し出てくれました。

「まるで、勤めに行くみたいに毎日くるよ。楽しいからやめられないね」と、みなさん。

